No.018	解答	名前	点数
児童文学編			／20

①	曜日ごとにりんごや梨などを食べていく小さな虫が、さなぎを経て蝶になる、 ページに食べ物の穴が開いたエリック・カールの絵本は何？	『はらぺこあおむし』
②	森で見つけた大きな卵からカステラを焼く、料理と食べることが好きな、 福音館書店が刊行する、野ねずみの2人を描いた絵本は何？	『ぐりとぐら』
③	もち巾着の小さな主人公が、おでん鍋の仲間たちと暮らす世界を描き、 リリー・フランキーが2001年に刊行した人気絵本の題名は何？	『おでんくん』
④	赤と白の横じま模様の服に眼鏡をかけた少年が、にぎやかな絵の中に隠れる、 マーティン・ハンドフォード作の探し絵絵本シリーズは何？	『ウォーリーをさがせ！』
⑤	祖父から借りた図鑑を手にした少年が不思議な小さな生き物を探し、 なばたとしたかが2006年に発表した、小さな生き物の絵本は何？	『こびとづかん』
⑥	ひとりぼっちの小ぎつねが兵十にいたずらをした後、こっそり償おうとする、 新美南吉（にいみなんきち）が1932年に発表した童話の題名は何？	『ごんぎつね』
⑦	夜は1人で外へ出るのも怖い豆太が、祖父のために山道を駆け下りる、 斎藤隆介が書き、滝平二郎（たきだいらじろう）が切り絵で彩った絵本作品は何？	『モチモチの木』
⑧	宮沢賢治の『やまなし』で、谷川に住む2匹の蟹が「かぷかぷ」笑ったと話す、 作中でその正体が明示されない不思議な存在の名前は何？	クラムボン
⑨	原ゆたかが描くいたずら好きのキツネが、さまざまな冒険に出かけ、 イシシとノシシも登場するポプラ社の長寿児童書シリーズは何？	『かいけつゾロリ』
⑩	ハチベエ・ハカセ・モーちゃんの3人が花山町を舞台に活躍する、 那須正幹（なすまさもと）が書き、50巻にわたって続いた児童文学シリーズは何？	『ズッコケ三人組』
⑪	黒い小魚が赤い仲間たちを大きな魚の形に並ばせ、自分は目の役になる、 谷川俊太郎が日本語に訳したレオ・レオニの名作絵本は何？	『スイミー』
⑫	王様や船乗りなどの飼い主のもとで生まれ変わり続けたトラ猫が、 初めて白い雌猫を愛して自分の命を生きる姿を描いた佐野洋子の絵本は何？	『100万回生きたねこ』
⑬	助手のブラウンと謎を解き、「フーム、においますね」が口癖の、 トロルの絵本に登場する、顔が体の一部に似たユーモラスな名探偵は誰？	おしりたんてい
⑭	ウォルター・ウィックが撮った写真の中から、指定された物を探し、 糸井重里の日本語訳で親しまれる、小学館の探し絵絵本シリーズは何？	『ミッケ！』
⑮	1975年に『世界名作劇場』の第1作としてテレビアニメにもなった、 少年ネロと犬のパトラッシュを描くウィーダ原作の物語は何？	『フランダースの犬』
⑯	周囲の鳥から姿を笑われた灰色のひなが長い旅を重ねて冬を越え、 やがて自分が白鳥だったと気づくアンデルセンの有名な童話は何？	『みにくいあひるの子』
⑰	小学生の則安がでたらめを書いた日記の内容が本当になってしまい、 空からぶたが降る騒ぎを描く矢玉四郎作・絵の楽しい児童書は何？	『はれときどきぶた』
⑱	アンデルセンの『マッチ売りの少女』では、雪の降る街を裸足で歩く少女が、 物語の冒頭に描かれる寒い夕方の日付を、月日で答えるといつ？	12月31日
⑲	学校の校庭で黒猫と出会った少年が、子どもだけの世界で恐ろしい竜と戦う、 「いちばんたしかなもの」を探す岡田淳の児童文学の題名は何？	『二分間の冒険』
⑳	アンキロサウルスの赤ちゃんを食べようとしたティラノサウルスが、 思わぬ親子のような温かな関係を築く宮西達也の絵本の題名は何？	『おまえ うまそうだな』